

令和2年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<h4>1 一人一人の児童生徒の尊重</h4> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p>	<h4>2 友達への思いやり</h4> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<h4>3 道徳・心の教育の充実</h4> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）</p>
<p>【学校から】○今年度は、特に子どもたちの不安な気持ちを少しでも取り除き、安心して学校生活を送ってほしいという思いで学校運営を行い、全職員で取り組んできた結果、友達と仲良くしているという【4】の子どもの割合が多く、保護者も【3】【4】の割合がとても高い評価を得ている。しかし、子どもの中にわずかだが【2】もある。今後はさらに、一人一人を大切にしたい教育活動を行っていく必要がある。○地域の方々に、登下校時のあいさつについて、高い評価を得るようになった。今後も心の教育の充実に努めていきたい。</p>		

②確かな学力を育む教育の推進

<h4>4 意欲的な学習態度</h4> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<h4>5 授業力向上</h4> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<h4>6 ICT活用</h4> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p>
<p>【学校から】○校内で、全員が公開授業をすることを計画し、授業改善の意識を高めてきた。コロナ禍において、子どもも職員も自ら学ぶ必要感に迫られたこともありICTの活用が充実し、どの教室でもわかる授業、楽しい授業づくりが見られるようになってきた。職員間の連携も深まり、互いに教え合うなど、意識改革にもつながっている。また、保護者や子どもたちの【3】【4】の割合が多い。学校の取組の効果が、実感として見えている証だと考えられる。今後は、【1】の回答があることを真摯に受け止め、さらなる授業改善を図り、学力の充実を目指したい。</p>		

③健やかな体を育む教育の推進

<h4>7 健康づくり</h4> <p>子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p>	
<p>【学校から】○食事や十分な睡眠は家庭との連携が大切になる。実態に応じて、体のことを考えた食育、時間の使い方を指導していきたい。</p>	

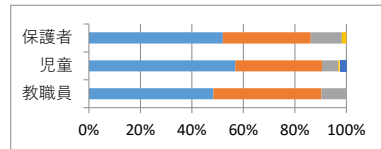
<h3 style="text-align: center;">①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実</h3> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <h4>9 いじめや問題への対応</h4> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>【学校から】○職員は100%「子どものよさを見つけている」「いじめや問題にはすぐに対応している」と答えているが、保護者・児童の中に【2】【1】の意見も見られる。理解・対応してもらえてない、と感じる人が少数ながら存在するということを謙虚に受け止め、更に一人一人に目を向け、対応していきたい。○児童理解朝会を週に1回設けており、その中で、支援を要する児童について共通理解を図っている。全職員で取り組むことを合言葉に実践しているので、今後さらに深めていきたい。</p> </td> </tr> </table>	<h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p>	<h4>9 いじめや問題への対応</h4> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>	<p>【学校から】○職員は100%「子どものよさを見つけている」「いじめや問題にはすぐに対応している」と答えているが、保護者・児童の中に【2】【1】の意見も見られる。理解・対応してもらえてない、と感じる人が少数ながら存在するということを謙虚に受け止め、更に一人一人に目を向け、対応していきたい。○児童理解朝会を週に1回設けており、その中で、支援を要する児童について共通理解を図っている。全職員で取り組むことを合言葉に実践しているので、今後さらに深めていきたい。</p>		<h3 style="text-align: center;">②特別支援教育の推進</h3> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <h4>10 学校の支援体制</h4> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p> </td> </tr> </table>	<h4>10 学校の支援体制</h4> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>
<h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p>	<h4>9 いじめや問題への対応</h4> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>					
<p>【学校から】○職員は100%「子どものよさを見つけている」「いじめや問題にはすぐに対応している」と答えているが、保護者・児童の中に【2】【1】の意見も見られる。理解・対応してもらえてない、と感じる人が少数ながら存在するということを謙虚に受け止め、更に一人一人に目を向け、対応していきたい。○児童理解朝会を週に1回設けており、その中で、支援を要する児童について共通理解を図っている。全職員で取り組むことを合言葉に実践しているので、今後さらに深めていきたい。</p>						
<h4>10 学校の支援体制</h4> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>						

<h3 style="text-align: center;">①子どもたちの身近な安全対策の充実</h3> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <h4>11 安全と事故防止</h4> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>【学校から】○命を守る行動をとることができるよう、指導、訓練に取り組んでいる。大事には至らなかったが、けがが多かった。活動の前に事前準備を入念に行うなど、職員の意識をさらに高める必要がある。</p> </td> </tr> </table>	<h4>11 安全と事故防止</h4> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>【学校から】○命を守る行動をとることができるよう、指導、訓練に取り組んでいる。大事には至らなかったが、けがが多かった。活動の前に事前準備を入念に行うなど、職員の意識をさらに高める必要がある。</p>	<h3 style="text-align: center;">②最適な学習環境の整備</h3> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <h4>12 施設・設備の安全管理</h4> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>【学校から】○以前からの環境を維持するのではなく、安全点検等確実に行い、子どもにとってさらに安全でよりよい環境を作っていくよう、職員同士で気づき考え取り組んでいきたい。</p> </td> </tr> </table>	<h4>12 施設・設備の安全管理</h4> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>	<p>【学校から】○以前からの環境を維持するのではなく、安全点検等確実に行い、子どもにとってさらに安全でよりよい環境を作っていくよう、職員同士で気づき考え取り組んでいきたい。</p>
<h4>11 安全と事故防止</h4> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>					
<p>【学校から】○命を守る行動をとることができるよう、指導、訓練に取り組んでいる。大事には至らなかったが、けがが多かった。活動の前に事前準備を入念に行うなど、職員の意識をさらに高める必要がある。</p>					
<h4>12 施設・設備の安全管理</h4> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>					
<p>【学校から】○以前からの環境を維持するのではなく、安全点検等確実に行い、子どもにとってさらに安全でよりよい環境を作っていくよう、職員同士で気づき考え取り組んでいきたい。</p>					

③家庭・地域社会との連携強化

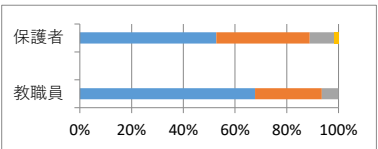
13 教育方針・目標の理解

学校は、学校の教育方針や教育目標などをわかりやすく示していると思いますか。



14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

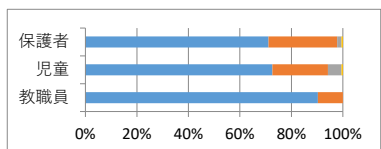


【学校から】○保護者、PTA、交通安全協会、防犯協会、自治会、民生児童委員など、保護者や地域の方々の支えで、本校の教育活動を進めることができています。学校目標や教育方針等、【2】の割合が多く、さらにわかりやすく示す工夫が必要であると考えます。今後は、保護者、地域に発信する工夫をし、連携を強化し、学校を支持していただける風土を今後さらに培っていきたい。

⑧本校の教育

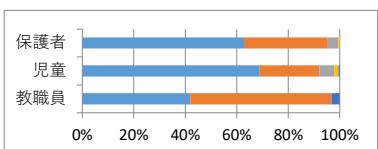
15 1

学校は、子どもたちが安心して過ごせる学校になるように取り組んでいると思いますか



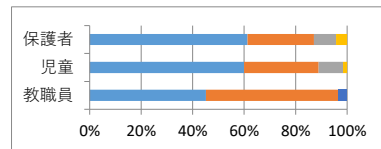
16 2

全ての授業で、子どもたちが、友達の意見を聴いたり、自分の考えを伝えたりして学び合う時間（場）を設定していると思いますか。



17 3

子どもたちは、進んで運動に親しんでいると思いますか



【学校から】○授業の中での学び合いについて、保護者、児童の肯定的な回答が多く、職員の授業改善への工夫や努力が伝わっていることがわかる。今後も研修等を重ね、互いの授業を見合い、全職員で授業を磨いていく。○体力向上に関し、特に保護者、児童についてバラつきが見られる。体力向上については個人差があるので、意義を十分に理解させ、楽しく取り組めるような工夫を考えていきたい。○子どもが安心して過ごせる学校づくりは、必須であり、今後も全職員で取り組んでいく。

来年度の具体的な取り組みについて

○健康づくりについて、「食事」「運動」「睡眠」については、課題が多い。授業でその大切さについて学習を深めていき、実践の場として家庭と連携して、取り組んでいきたい。
 ○新しい生活様式の中で、学校での教育活動が滞らないよう、行事の精選や内容の変更等を検討していく。
 ○保護者、地域の方等、学校に来ていただくことが難しい状況が続くと思われるが、タブレットを活用して保護者とつながったり、学校ホームページや学校だより、学級・学年通信で保護者や地域とつながり、情報発信をしていく。
 ○熊本市学力調査においては、おおむね良好であるが、学年によっては国語の「話す・聞く」、「言語、情報、言語文化」が大きく劣る。授業改善を図り、校内の支援体制を整え、きめ細かな指導を行っていききたい。
 ○学期ごとのアンケートでは、「学校が楽しい」と感じている子どもが95%を超えている。継続できるよう、今後も心の教育の充実、さらなる授業改善、集会活動の工夫等、全職員で協力し実践していく。
 ○以前からの環境を維持するのではなく、安全点検等確実にいき、子どもにとってさらに安全でよりよい環境を作っていくよう、職員同士で気づき考え取り組んでいきたい。子どもも保護者も職員にとっても、安心して安全な学校となるよう取り組んでいく。

学校関係者評価

○子どもたちの挨拶がとてもよくなってきている。単に言うだけでなく、交通指導をしていただいている方に対して感謝の言葉まで伝える子どもも増えている。若葉小のよさとして、今後も増えていくとよいと思う。
 ○「わかる授業」「楽しい授業」の回答が、保護者、児童、教職員どれも同じように【4】【3】の割合が高い。先生方の努力が子どもたちの伸びにつながって、保護者も喜んでいることがわかる。今後も、連携して取り組んでほしい。
 ○児童の「友達と仲良くしている」という【4】の割合が大きい。友達と仲良くし、勉強をしっかりとがんばってほしいので、今後も友達と助け合って仲よくしてほしい。
 ○ICTを活用した授業については、先生方はもちろん保護者から高い評価を得ている。授業参観でもたくさんの教室で活用がなされていた。今後も社会の変化に対応した教育力の向上に努めてほしい。